

平成 20 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 I H I
代表者名 代表取締役社長 釜 和 明
(コード番号 7013)
問合せ先 広報室長 竹 園 良 雄
T E L 03 - 6204 - 7030

当社子会社における出資等に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社 I H I プラントエンジニアリングは、株式会社 UMN ファーマが開発中の細胞培養法による新型インフルエンザワクチン UMN-0501 の製造設備について同社と設計契約を締結し、また、更なる関係強化と本事業の着実な推進のため、このたび同社に出資いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の子会社の概要

- ・商 号 : 株式会社 I H I プラントエンジニアリング (略称「IPEC」)
- ・本店所在地 : 東京都江東区
- ・代 表 者 : 山岸晴久
- ・設 立 年 月 : 昭和 56 年 7 月
- ・決 算 期 : 3 月
- ・資 本 金 : 150 百万円
- ・株 主 構 成 : 当社 100% 出資

2. 株式会社 UMN ファーマの概要

- ・商 号 : 株式会社 UMN ファーマ (略称「UMN」)
- ・本店所在地 : 秋田県秋田市
- ・代 表 者 : 金指秀一
- ・設 立 年 月 : 平成 16 年 4 月
- ・決 算 期 : 12 月
- ・資 本 金 : 1,874 百万円
- ・株 主 構 成 : エヌ・アイ・エフ SMBC ベンチャーズ株式会社,
野村リサーチ・アンド・アドバイザリー株式会社,
ほか国内主要 VC, 金融機関

3. 出資等の理由および概要

2 頁以降の【参考「細胞培養法の新型インフルエンザワクチン製造設備建設に着手」】をご参照願います。

4. 出資の状況

出 資 金 額 : 約 2 億円 (取得株式数 : 1,418 株, 出資割合 : 1.93%)

5. 連結業績の見通し

IPEC の UMN に対する出資等に伴う当社の平成 21 年 3 月期の連結業績への影響は、軽微であります。

以上

【参考】

平成 20 年 8 月 22 日

各 位

株式会社 IHI プラントエンジニアリング
株式会社UMNファーマ

細胞培養法の新型インフルエンザワクチン製造設備建設に着手

株式会社IHIの子会社である株式会社IHIプラントエンジニアリング(本社:東京都江東区、社長:山岸晴久、資本金:1億5千万円、以下IPEC)と株式会社UMNファーマ(本社:秋田県秋田市、社長:金指秀一、資本金:18億7,376万2千円、以下UMN)は、UMNが開発中の細胞培養法による新型インフルエンザ^(※1)ワクチンUMN-0501の製造設備建設の第一歩として、設計契約を締結し、設備設計を開始しました。また、IPECはUMNとの関係を更に強化し、当該事業を着実に推進するため、このたびUMNに出資をいたしました。

UMN-0501は、細胞培養によって産出されるリコンビナントタンパク^(※2)製造技術を使用する新型インフルエンザワクチンで、本年6月に厚生労働省より希少疾病用医薬品(オーファン・ドラッグ)の指定を受けています。従来の孵化鶏卵を用いて製造する既存のワクチンでは製造に約6カ月かかるかとされていますが、UMN-0501は製造期間が約8週間と大幅に短縮できます。また、製造には感染性のあるインフルエンザウイルスを培養しないことから、ワクチンを安全に短期間で大量生産することが可能となります。UMNでは現在、第I/II相臨床試験を行っており、年内に結果を得る予定です。

IPECは、UMNが米国 Protein Sciences Corporation(以下PSC)とのライセンス契約に基づき日本で進める新型インフルエンザワクチン事業に関して、日本における工場建設・製造を前提として、昨年より共同研究、PSCからの技術移転、製造実験等をUMNと共同で進めてまいりました。

IPEC代表取締役社長 山岸晴久は、次のように述べております。「昨今、新型インフルエンザへの脅威が高まる中、UMNの技術の新規性、UMN-0501の安全性及び市場性に注目し、社会的にも大変意義のある事業との認識から、UMNを全面的に支援してきました。今般の事業の進展に伴い、UMNとの関係を更に強化し、当該事業を着実に推進してまいります。」

UMN代表取締役社長 金指秀一は、次のように述べております。「弊社では、細胞培養技術を用いた日本初となる新型インフルエンザワクチンの臨床試験を現在進めております。IPECからの支援を受け、一刻も早く、UMN-0501を安定供給できる体制を確立すべく、臨床試験と並行して製造設備の建設を行ってまいります。」

※1 「新型インフルエンザ」

新型インフルエンザとは、動物、特に鳥類のインフルエンザウイルスがヒトに感染し、人体内で増殖することができるように変異して、ヒトからヒトに感染するようになったウイルス性の疾患を指します。この新型インフルエンザは、人間界にとっては未知のウイルスで、人類のほとんどが免疫を持っていません。そのため、容易にヒトからヒトに感染して広がり重篤化しやすく、急速な世界的大流行(パンデミック)が引き起こされる危険性があります。

※2 「リコンビナントタンパク」

遺伝子組換え技術によって作製されたタンパクを指します。大腸菌、酵母、昆虫、動物等の細胞に目的の遺伝子を組み込むことで人工的にタンパクを生産することが可能です。インスリン、インターフェロン、抗体医薬等のリコンビナントタンパクが、既に医薬品として承認されています。

■株式会社IHIプラントエンジニアリングについて

株式会社IHIプラントエンジニアリングは、昭和56年に株式会社IHI(当時の商号:石川島播磨重工業株式会社)のプラント事業部の詳細設計部門として設立しました。各種プラント関係の業務を通じて社会に貢献することを第1の理念としております。

プラント事業、機器事業、エンジニアリング事業を3本の柱として事業を展開しており、バイオプラント分野においては100基を越える培養槽の納入実績を有しております。

豊富な納入実績で培った技術を駆使し、幅広い分野の最先端ニーズにお応えしております。バイオプラントの構築にあたっては開発(実験室段階)からスケールアップに至るまで顧客満足を第一にトータルにサポートしております。

設 立	昭和56年7月1日
代表取締役社長	山岸 晴久
本 社	東京都江東区豊洲3-1-1 豊洲IHIビル13階 TEL 03-6204-8200(代表)
ホームページ	http://www.ipec-ihijp

■株式会社UMNファーマについて

株式会社UMNファーマは、Unmet Medical Needs(未充足医療ニーズ)^(※)を満たす薬剤を開発する創薬ベンチャーとして平成16年に設立しました。大学や企業等の創薬シーズの中から、医薬品になる確率の高いものを的確に選び出し、スピーディーに開発を進めています。現在、インフルエンザワクチン、肺炎治療薬が主なパイプライン中のコンパウンドです。

(※)Unmet Medical Needsとは、満足な治療法が存在しない治療領域において新規薬剤を待望する社会全体の期待を表す。

設 立	平成16年4月20日
代表取締役社長	金指 秀一 医師、医学博士、日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医
本 社	秋田県秋田市中通3-1-9 ダイアビル秋田901
東京本社	東京都渋谷区神南1-15-8 兼仲ビルディング4F TEL 03-5728-5420
ホームページ	http://umnpharma.com/index.html

— 本件に関するお問い合わせ先 —

■株式会社IHI

広報室 TEL:03(6204)7030

■株式会社IHIプラントエンジニアリング

取締役 医薬・ファインケミカル事業部長 辻 英明
TEL:03(6204)0039

■株式会社UMNファーマ

取締役 事業開発部長 林 成浩
TEL:03(5728)5420